



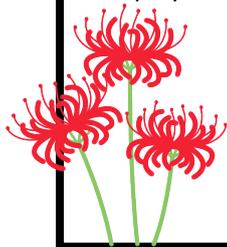
令和4年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和4年10月3日(月)

校長 高橋 励



先日、秋の大会会場で、2年生保護者から次のコメントをいただきました。

「判断が難しかったです。自然体験教室に行かれて本当によかったです」

安易に「中止」判断はしない、という思いで、活動の安全を第一に考えながら、状況と情報をギリギリまで整理し、19日早朝に実施判断した2学年職員へのねぎらいとして受け止めました。お声かけ感謝いたします。

そういえば「コロナ感染拡大防止のため…」と止まっていた合唱祭も、先日ご案内をお届けすることができました。また、聞くところによれば、小和田小学校も今年は無事に修学旅行を実施できたそうですね。

昨年度とは違う「今年の秋」が、一つ一つ刻んでいければ、と願っています。

さて。暦は神無月(かなづき)。

今週で令和4年度前期課程は終了。

金曜日から始まった個別面談は、4月から半年間のお子様の成長の過程を、子ども・保護者・教員のそれぞれの立場から振り返りながらこれからの取組につなげていく、「ミライ」と向きあう時間です。

特に、3年生にとっては「進路の選択・決定」に向けた話題が面談の中心になりますが、何のためにその進路を選択していくのかを、子ども自身が考えていられるよう、保護者の皆さまには、ご家庭でのよき相談役になっていただけたら、と思っています。

私は、子どもの夢を応援するのは、私たちオトナの勤めだと思っていますが、思い入れが強いと、つい「オトナが思い描くよりよい結果を子どもにかなえさせよう」とすることに陥りがちです。

応援とは、急ぎ立てたり追い込んだりすることではなく、本来、子ども一人ひとりが自分でつかみ取っていく様子を見守り、時に寄り添い支えることだと思っています。

実は、この秋の大会の会場で「〇〇さんありがとう！」を連発するベンチワークを見ました。チームの作り方は指導者それぞれですが、価値ある行動を認めて、それを続けていけるように支えることは大切なことだなあ、と改めて感じたひとコマでした。

さて、来週からは卒業・進級に向かう半年が始まります。気持ちを整える1週間となるよう願っています。

赤羽根中 生徒の活動の記録

令和4年度神奈川県中学校体育連盟サッカー専門部

優秀選手 1名(3年生)

第51回茅ヶ崎市小学校中学校総意工夫・研究作品展

創意工夫作品部門銀賞 1名(1年生)

研究作品部門 銅賞 1名(1年生)

努力賞 2名

(2年生・3年生各1名)



←10月3日~31日の間、茅ヶ

崎市教育センターHPに作品が公開されます。

※運動部の大会等の結果は、次号にまとめて掲載する予定です。